教材研究ノート№2-B-2

≪学習問題≫

紙を3回折って切り取ってつくった三角形を，1本の直線で2つに切って，三角形や四角形をつくりましょう。

≪定着・活用問題≫

授業計画･実施記録

主眼

≪学習問題≫

①本時を構想する上でポイントとなる素地

○問題解決のための知識・技能

・点と点を直線でつなぎ，直線に囲まれている図形がその本数によって三角形や四角形と定義されることを理解している。

○既習とつなぐ見方・考え方

・点や直線に着目して形をとらえたり，色板を合わせ

た形作りをしたりしている。

○共同追究でのゆさぶり

・三角形を面としてとらえ，分けて図形をつくる経験は初めて。

○ゆさぶりに対応する経験

・直角二等辺三角形の色板で合わせる辺を変えて形を作っている。

②

①

③

三角形と四角形

三角形と三角形

![MCj03108240000[1]]()

②見通し:どこを切れば四角形や三角形になるか分からない。

→三角形は3本の直線で囲まれるようにすればよいし，四角形は4本の直線に囲まれるようにすればよい。

１　課題とまとめを一体のものとしてとらえるには

②学習課題:どこからどこへ切ったら何本の直線で囲まれるかを考えて，三角形や四角形をつくろう。

③個人追究:できる形を予想し，いろいろな切り方で試す。

④共同追究前半（解法の比較検討）

「三角形が2つできた切り方，三角形と四角形ができた切り方のそれぞれで共通していることは何だろう？」

→「三角形と三角形は点から向かいの直線に引いた直線で切っている。三角形と四角形は隣の直線から隣の直線へ引いた直線で切っている。」

④共同追究後半（思考を深める）

「四角形と四角形はつくれないのかな？」

→「つくれない。点と直線では1本の直線が2つに分かれて3本と3本，直線と直線では2本の直線が分かれて3本と4本になる。」

⑤まとめ（児童生徒の言葉で）

・三角形を，点から直線へ切ると，

三角形と三角形ができて，直線

から直線へ切ると，三角形と四

角形ができる。

③

②

①

⑥定着･活用問題

四角形を1本の直線で2つに切ると，どんな形ができるかな。

どんな切り方をしたらどんな形になるか予想して，確かめよう。

＜本時の展開に当たっての留意点＞

・3本の直線で切り取ってできた形が三角形になることを確認して，三角形を１本の直線で2つの形に分けるとどのような形になるか定義をもとに予想させ，見通しをもたせたい。

・できた形を判断するとき，面に着目して「何本の直線で囲まれているか」の視点で見るようにするとともに，三角形をどのように分けたのか共通点から類推させたい。

【板書計画】